

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日
令和7年4月11日

事務事業名	プロモーション事業					事業区分	新規/継続 単独/補助	継続 補助	事務事業No.	040301001033	
政策体系上の位置付け								担当	040301001033 025101		
総合計画の施策名	0403 観光の振興							所属課	ヤマザクラ課		
政策名	04 活力ある産業のまちづくり							課長名			
施策名	03 観光の振興							グループ	ふるさと納税推進室・ヤマザクラG		
手段名	01 ①観光資源の再発見とPR強化							担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計					
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業				
法令根拠	さくら川百貨選定制度実施要綱(さくら川百貨事業関係)						期間限定複数年 (平成29年度~令和6年度) ☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	地方創生推進交付金対象事業「桜川市の魅力・地域力をあますことなく発掘、創造、発信する地域商社設立事業」の令和2年度事業計画に位置付けられた「地域産品の磨き上げ・地域の魅力の発信・プロモーション(地域産品の発掘、サイクリングの誘客状況の実態把握)を推進する。					地域産品・地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・自転車利用の実態調査 ・サイクリング事業(PR・自転車活用) ・地域産品発掘・PR ・地域産品の磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業				
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
桜川市プロモーション事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・さくら川百貨事業(選定申請品の募集、選定審査委員会の開催、選定品決定、選定品PR) ・サイクリング事業(自転車活用・交通量調査)		さくら川百貨ブラッシュアップ検討会の開催回数			回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		桜PRのイベント参加回数			回	3.00	5.00	6.00	7.00	8.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市民		桜川市の人口			人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
		イベント参加者数			人	6,000.00	10,000.00	12,000.00	14,000.00	16,000.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
「さくら川百貨」として選定し、桜川市内外へ魅力発信し、桜川市の知名度向上、観光の振興、地域産業の活性化に繋げる。		さくら川百貨選定品の件数			件	68.00	68.00	72.00	75.00	78.00
		PR冊子配布数			部	6,000.00	2,000.00	6,000.00	8,000.00	10,000.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量(事業費)の推移					05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	5,436	5,436	5,436	5,436	5,436	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	9,507	11,854	19,833	17,238	14,970	0
	事業費計(A)	千円	14,943	17,290	25,269	22,674	20,406	0		
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人			
06年度事業費 実績(千円)					07年度事業費 予算(千円)					
事業費の内訳	01 報酬	2,025	18 負担金補助及び交付金	2,209	01 報酬	2,304	18 負担金補助及び交付金	750		
	03 職員手当等	552			03 職員手当等	856				
	07 報償費	146			07 報償費	5,800				
	08 旅費	186			08 旅費	672				
	10 需用費	1,519			10 需用費	5,370				
	11 役務費	3,678			11 役務費	2,000				
	12 委託料	6,124			12 委託料	6,209				
	13 使用料及び賃借料	448			13 使用料及び賃借料	788				
15 原材料費	264			15 原材料費	396					
17 備品購入費	139	合計	17,290	17 備品購入費	124	合計	25,269			
(4) 当該年度の実施内容					07年度の事業内容		08年度の事業内容		09年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する					地域産品、地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・地域産品発掘PR ・地域産品磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)		地域産品、地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・地域産品発掘PR ・地域産品磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)		地域産品、地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・地域産品発掘PR ・地域産品磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)	

事務事業名	プロモーション事業	事務事業No.	40301001033	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地方創生推進交付金対象事業として、平成29年度から平成31年度までの3年間の継続事業として開始された。引き続き令和2年度から令和4年度までの3年間の継続事業として開始され、さらに令和5年度から令和6年度までの2年間の継続事業として開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ふるさと応援寄付金の人気返礼品となる地場産品の選定。選定商品の売り場（買えるところ）の確保。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市の総合戦略に位置づけされており政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産品の販路拡大や市のPR強化、ふるさと応援寄付金返礼品等の需要が見込まれる。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 地場産品の自家消費から市内外流通へとシフトし、成果へと結びつくのは複数年の期間を必要とする。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域経済の循環に支障が伴い、桜川市の知名度向上、観光の振興、地域産業の活性化に繋がらない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地方創生推進交付金対象事業として推進する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） さくら川百貨事業では特に優れた特産品68品を選定するとともに、選定品カタログの作成、選定品事業者を対象にセミナーの開催、商談展示会への出展補助等により、選定品のPR及び販路開拓の支援を行った。 ヤマザクラのPRとして茨城新聞内で全面広告を掲載した。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---